

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：薬務課
 担当名：医療機器等生産指導担当
 内線：3640 (単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
S103	AED普及推進対策事業費	一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	AED普及推進事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	なし	針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	
				分野施策	0305 医薬品などの適正使用の推進	SDGsターゲット	
1 事業概要	<p>突然の心停止から県民の尊い命を救うため、AEDの設置促進、救命講習会の受講促進など、AEDの普及を通じて県民の救命意識及び心停止者の救命救急の向上を図る。</p> <p>(1) 県民に向けたAEDに関する情報発信 Δ34千円 (2) 県有施設AEDの更新、保守 Δ539千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア AED設置情報提供システムの運用管理(通年) 660千円 心停止現場で迅速に救命活動を行えるよう、「AED設置情報提供システム」により県民に設置情報を提供</p> <p>イ 県民に向けたAEDに関する情報発信(通年) 286千円→252千円 (ア) 県のホームページ、マスメディア等によりAEDの有用性、操作方法などの情報を提供</p> <p>(イ) 消防本部、日本赤十字社埼玉県支部が開催する救命講習会の日程の公表、受講促進</p> <p>ウ 県有施設AEDの更新、保守 1,287千円→748千円 平成28年購入のAEDの更新及び保守</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア AED設置届出数(累計) 令和5年度末：14,200台(目標) イ 救命講習会の受講者数 令和5年度：50,000人(目標)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア AED設置届出数(累計) 令和元年度末：14,043台 令和2年度末：14,114台 令和3年度末：14,089台 令和4年度末：14,100台(見込) イ 救命講習会の受講者数 令和元年：90,174人 令和2年：20,402人 令和3年：14,127人</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 民間企業等が設置したAEDの設置情報を地図情報化し、県民に情報提供 イ 消防本部や日本赤十字社埼玉県支部と連携し、救命講習会の受講促進</p> <p>(5) 補正予算の概要 備品購入費の入札差金による減額</p>						
3 地方財政措置の状況	なし						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.2人=11,400千円						
予算額		財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	Δ573					Δ573	1,660
現計額	2,233					2,233	

事業内訳書

事業名	AED普及推進対策事業費		
単位事業名	県民に向けたAEDに関する情報発信	予算額	△ 34千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△34	—	
合計	△34	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△34	—	執行留保等による消耗品の減
合計	△34	—	

単位事業名	県有施設のAEDの更新、新規設置	予算額	△ 539千円
-------	------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△539	—	
合計	△539	—	

単位事業名	県有施設のAEDの更新、新規設置	予算額	△ 539千円
-------	------------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△49	—	執行留保等による消耗品の減
備品購入費	△490	—	契約差金が生じたことによるAED購入費の減
合計	△539	—	